

SIMSTAR #03

Simulation Center for Medical Skills **Training** and **Research** | 2018 NOVEMBER |

Tohoku University

医療技術と医療安全の向上を目指し、地域に根ざした医療人材の育成



特 集

医療チームに対する急変対応シミュレーション

(Simulation of Crisis Resource Management for Tohoku University Hospital)

東北SUN Meeting

(Simulation User Network)

医療チームに対する急変対応シミュレーション



病棟において、患者さんの病状が急変した場合には、その場にいるスタッフ個人の能力のみならず、チームとしての機動力が患者さんの予後に影響を与えます。東北大学病院では、高度救命救急センターの小林正和医師と医療安全推進室が中心となり、リアルなシミュレーション学習を通じて、初期対応にあたる看護師の急変対応能力の向上と、医師を含む多職種によるチームパフォーマンスをより優れたものにすることを目的として、急変対応シミュレーション(SCRUM-T: Simulation of Crisis Resource

Management for Tohoku University Hospital)を定期開催しています。医療安全では、患者さんと医療者、あるいは医療者同士のコミュニケーションエラーは医療事故につながりうると言われており、いかにコミュニケーションエラーを発生させにくい環境や関係を作るかが課題となっています。SCRUM-Tでは、知識や技術の習得だけでなく、チーム内の役割分担、チームワーク、明確な指示出しや指示の復唱等のコミュニケーションの学習をより重視しています。研修は、診療科毎あるいは病棟毎で参加し

ます。研修時間は1時間で、最初にブリーフィングを行い、使用するシミュレータの機能や研修の流れを説明しています。その後、参加者の背景に合わせた患者シナリオを提示し、チームで取り組んでもらいます。シミュレーション中は必ずしも上手く解決に結びつくわけではなく、改善を要する対応を行う場合もあります。その後のデブリーフィングにおいて、参加者全員でディスカッションをすることにより、優れていた点や改善すべき点に自分達で気づいてもらうことを期待しています。



東北SUN Meeting

SUN(Simulation User Network)は、シミュレーション教育を実践するためのシミュレータやソリューションを提供しているLaerdal Medicalが、世界各地で開催しているミーティングです。国内でも、National SUN Meetingと称して毎年開催されていますが、2017年に地方版としては初めて、東北SUN MeetingをSIMSTARと共同

しながら開催しました。このミーティングは、シミュレーション教育に携わる、あるいは興味のある方々が集まり、医療者教育に関する様々な知見や情報の共有を行いながら、ネットワークを築く場になることを目的としています。2018年10月には、第3回目となる東北SUN Meetingを開催し、参加者の皆様から大変ご好評をいただきました。毎年開催する予定となっていますので、今後も多くの皆様にご参加いただき、東北の医療の底上げに繋げていきたいと考えています。



病院職員向け

東北大学病院入職者研修
初期臨床研修医オリエンテーション



東北大学病院では、4月に入職したばかりの初期研修医に対し、2週間のオリエンテーションを実施しています。学生時代に学んだ技術も、国家試験に向けた長い勉強期間を終えて、忘れてしまっていることも少なからずあります。このオリエンテーションでは、心肺蘇生法や聴診、採血等の基本的な項目から、初期研修医が習得すべき高度な技術まで、シミュレータを用いて実際に手を動かしながら再確認しています。医師として働く前の不安な気持ちを、少しでも軽くしてもらいたいと考えています。

看護教員・看護師向け

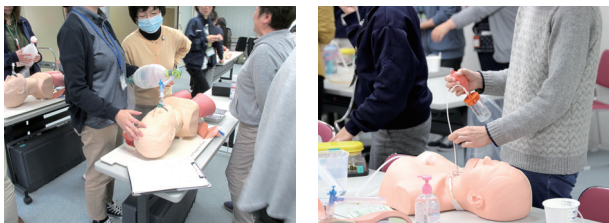
体験会
宮城県看護協会仙台北支部 平成30年度交流会



宮城県看護協会仙台北支部の教育委員会が主催するSIMSTARでの交流会は、前年度初開催した際に、大変好評をいただいたため、平成30年度も開催する運びとなりました。参加者は看護学校の教員や地域の病院で働く看護師等、様々な施設からご参加いただきました。会では、シミュレーション教育とは何か?という講義から始まり、その後シミュレータによる学習の体験をしていただきました。普段の診療で不安に感じていることも、近くにこのような施設があり、学びの支援を受けながら解決できることを認識いただけました。

在宅医療関係職種向け

難病地域生活支援従事者研修会
人工呼吸器を装着している在宅療養者の災害支援に備える



宮城県仙台市泉区障害高齢課では、東日本大震災を教訓に、停電による電源消失時でも在宅療養者に適切な支援が行われるよう、様々な支援計画の策定を進めていますが、今回、より実践的な内容で研修を行いたいとの希望から、SIMSTARに研修コーディネートの要請があり、講師や教材の手配、当日の運営にご協力しました。研修では、手動式の吸引器や人工呼吸を行うための医療機器の使い方、車からの電源供給等について、在宅医療を専門とする講師の方々にご指導いただきました。

Sim Night

事前予約制

時間 18:30~20:30のうちの2時間※お時間はご相談に応じます

場所 長陵会館・東北大学スキルスラボ(SIMSTAR)
地下1階救急蘇生シミュレーション室

申込人数 可能であれば、3人以上でお申し込みください

対象者 院内外に関わらず看護職の方がご参加いただけます。医師のご参加も可能です。普段滅多に急変に遭遇しない方でも、急変シミュレーションを経験したい方は是非お申し込みください。

成人のBLSと急変シミュレーション

事前予約制

時間 13:00~16:00(約3時間程度)※お時間はご相談に応じます

場所 長陵会館・東北大学スキルスラボ(SIMSTAR)
地下1階救急蘇生シミュレーション室

申込人数 可能であれば、2人以上でお申し込みください

対象者 院内外に関わらず、医療従事者の方がお申込みできます。また、BLSについては一般の方の参加も可能です。

お申し込み・開催日・利用料金に関しましては、下記の連絡先からお問合せください

東北大学クリニカル・スキルスラボ



022-717-8867



csl@csl.med.tohoku.ac.jp



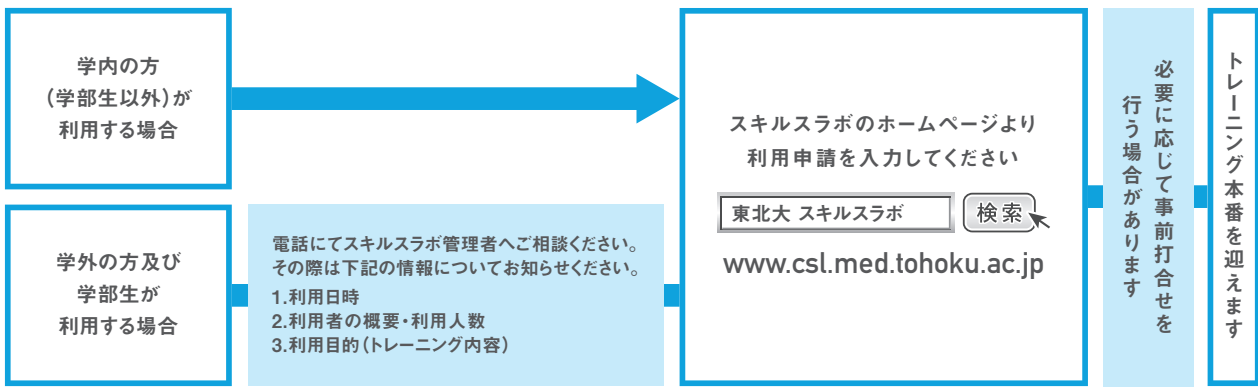
東北大学クリニカル・スキルスラボ 施設概要

クリニカル・スキルスラボには、シミュレータ（模型とバーチャル型）や様々な医療機器、備品などが整備されており、広範囲な臨床技能が医療現場を模した環境で安全かつ効果的に学べます。またラボには専任の管理者がおり、利用手続き上のお困り事のみならず、トレーニングの準備やトレーニング中のサポート、シミュレーション教育方法に関する相談などにも応じられます。充実した教育環境が提供できますので、ぜひご活用ください。

利用方法

UTILIZATION
METHOD

平日の9:00から17:00の利用が原則となりますが、時間外利用（土日・祝日）に関しましては別途ご相談ください。
学外の方が利用する場合、規定の使用料が必要となります。詳細は下記のホームページで“利用方法”をご覧ください。



利用対象者

1. 東北大学に在籍する学生、および職員
2. スキルスラボで行う講習会等の参加者
3. 医療関連教育施設、医療関連組織（看護協会、介護協会など）
4. スキルスラボが認めた個人、施設、組織

※初めてご利用を希望する際、まずはスタッフまでご相談ください。

※学外の方の利用申請は原則、使用する日の1ヶ月前（土曜日、日曜日又は祝日の場合はその前日の営業日）までお願いいたします。

※館内は禁煙です。喫煙スペースはございません。

※駐車場はございませんので、お車でお越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください。

※予約のキャンセルの場合は必ずスキルスラボまでご連絡ください。施設のキャンセルは可能ですが請求確定後の使用料のご返金は致しかねますのでご注意ください。

facebook

東北大学クリニカル・スキルスラボ (SIMSTAR) Facebook

利用情報やイベント告知情報などの最新情報を公開しております。
一般向けの情報もございますので、ご興味のある方はぜひチェックしてください。



仙台駅からの
アクセス



SUBWAY

「北四番丁駅」下車、徒歩約10分
（東北大学病院から、北四番丁通りを挟んで、向かい側）



BUS

JR仙台駅西口バスプール10、13、15、31番のりば発、
「交通局東北大学病院前」・「東北大学病院前」下車



TEL 022-717-8867 FAX 022-717-8587

所在地 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町3-34 長慶会館内

受付時間/平日 9:00-17:00

最新の情報はホームページをご覧ください。 <http://www.csl.med.tohoku.ac.jp>

